

# 第1学年生活科学学習指導案

平成16年10月5日(火) (9:00~10:00)

1年2・3組(男子24名,女子22名,計46名)

場 所 体育館

指導者 T1:上柿 裕美子 T2:安本 泉

1 単元名 「みんな、みんな だいすきだよ」 ~チャレンジ!お仕事やってみたい~

## 2 単元について

### (1) 児童の実態

子供たちに、家でお手伝いをしているかどうかを聞いてみたところ、時々やっているという子供がほとんどであった。お手伝いの内容としては、お風呂洗いや洗濯物をたたむ、靴そろえ、玄関や廊下の掃除などが多かった。自分の仕事として毎日やっている子供もいて、その子供たちは、ご飯を運ぶ、テーブルを拭く、食器を洗うなどの夕食に関わるお手伝いが多かった。全然やっていないという子供も数名いた。

学校での子供たちの様子を見てみると、学校生活に慣れてくるとともに、自分たちでできることは自分たちでやりたいという気持ちが強くなってきている。給食や掃除などの当番活動、それぞれの係活動において、どの子供も張り切って楽しみながら活動している。友達や教師から褒められたり認められたりすると、更に意欲的に活動する姿が見られた。

### (2) 単元のあらまし

本単元は、家の仕事を調べたり自分でできる仕事に取り組んだりする活動を通して、ふだん意識することが少ない家族や家庭生活に目を向けさせ、家族の一員として、家庭での役割を積極的に担おうとする態度を育てていく単元であると考え。これは、学習指導要領生活科の内容(2)「家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。」を受け設定した。

この単元での学習を通して、家族のよさや温かさを再発見したり再認識したりすることにより、家族や自分を見つめるきっかけを作っていきたい。そして、家族の役割や大切さに気付くとともに、自分の役割を見つけ進んで仕事に取り組もうとする気持ちや態度を育てることができると考える。

### (3) 指導にあたって

本単元は、「いえのしごとをしらべよう」「いえのしごとでちょうせんしよう」「できたよはっぴょうかいをしよう」の三小単元で構成する。

ふれる段階では、家族の仕事や得意なことを調べる活動を通して、家族の一人一人をよく見たり家族の話をきいたりし、今まで気付かなかった家族のいいところや好きなところに目を向けさせる。また、調べた結果から、家族が支え合って生活していることに気付かせるとともに、家の仕事に対して興味・関心をもたせ、自分もやってみたいという意欲につなげていきたい。

かかわる段階では、家族からの協力を得ながら、自分に取り組むと決めた仕事に責任を持ち進んで取り組ませていくようにする。その際に、必要に応じて支援をしたり賞賛し自信が持てるようにさせたりしながら活動の様子を見守り、やり遂げたという成就感や満足感を味わわせたい。また、それぞれの子供たちの取り組みを認め合うグループごとの交流会では、自分に取り組んでいる仕事

の様子やコツなどを発表し合い、友達の頑張りや工夫など気付いたことを素直に発表できるような雰囲気を作るようにする。そして、互いのよさを認め合うことにより、続けて仕事に取り組もうとする意欲を高めていく。

ひろげる段階では、自分が取り組んできた仕事を振り返り、できるようになったこと、自分や家族の役割、家族への感謝の気持ちなどに気付かせながら、「これからも仕事を続けていこう」「新しい仕事に挑戦してみよう」など、今後も家庭で実践していこうとする気持ちや態度を育てていきたい。

単元を通して、2C2Tで授業を進めることにより、多様な活動の様子を見取ったり、子供たちの思いや願いをできるだけ多く受け止める用にする。また、T1とT2が事前に十分に打ち合わせを行い、授業の中でもしっかりと連携を取り合いながら、同じ視点で子供たちを見取っていくようにする。

#### 本単元における具体的な手立て

	三つの手立て		具体的な取り組み
1	学習への意欲と見通しをもたせる導入の工夫	興味や関心をもたせる導入の工夫	・家族の仕事調べをすることにより、家庭生活に目を向けさせ、興味・関心をもたせたり、自分も仕事をしたいという意欲をもたせたりする。
2	学び合いを充実させるための工夫	学習形態の工夫 よりよい考えを練り上げていくための工夫	・取り組んだ仕事別にグループを作る。 ・グループ内や全体で、自分たちの仕事について交流させる。 ・毎日の取り組みの様子やおうちの人からの言葉をカードに記入させ、家族の気持ちに気付かせる。 ・取り組んだ仕事について発表することにより、家族や自分の役割に気付かせる。
3	振り返りの工夫	自己評価の充実	・仕事への取り組みの様子や、グループでの交流活動についてカードに記入して、自分の活動を振り返らせる。 ・保護者との連携による評価を工夫する。

### 3 単元の目標

家庭生活の中で、自分ができそうな仕事に取り組むことにより、家族や自分の役割が分かり、家族との生活を楽しく過ごすようにする。

### 4 評価規準

#### (1) 「家庭と生活」の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境についての気付き
家庭生活に関心を持ち、自分の役割を積極的に果たそうとするとともに、規則正しく健康に気を付けて生活しようとする。	家庭生活を支えている家族のことや、自分でできることなどについて考え、それを表現することができる。	家庭生活を支えている家族のことや自分でできることなどに気付いている。

(2) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境についての気付き
<p>家庭の中に、どんな仕事あるかを考えたり、調べたりしようとする。</p> <p>家の仕事の中で自分でできることは自分でしようとする。</p> <p>家族のことや家庭での自分の生活に目を向けようとする。</p> <p>家族の一員としてできることを継続的に行おうとする。</p>	<p>家族がしている仕事を知り、仕事の分担や工夫などを考えることができる。</p> <p>自分でできる仕事について考えることができる。</p>	<p>家庭の中に、いろいろな仕事があることに気付く。</p> <p>家庭の中に、自分ができる仕事があることに気付く。</p> <p>仕事に取り組むことにより、仕事の大変さや工夫に気付く。</p> <p>自分でできる仕事に進んで取り組むことにより、家族や自分の役割に気付く。</p>

5 指導計画（指導時数：9時限＜10時間＞）

活動の流れ	時	小単元	活動計画	評価規準
ふれる	1	いえのしごとをしらべよう	・家族の仕事や得意なことについて調べる。	<p>(関) 家庭の中に、どんな仕事があるかを考えたり、調べようとする。</p> <p>(思) 家族がしている仕事を知ることができる</p> <p>(気) 家庭の中にいろいろな仕事があることに気付く。</p>
	2		・家族の仕事や仕事の分担についてまとめる。	
	3		・家族の仕事について調べたことやまとめたことを通して、家庭の中にいろいろな仕事があることに気付く。	
かわる	4	いえのしごとにちょうせんしよう	<p>・自分ができそうな仕事ややってみたい仕事を考える。</p> <p>・自分が選んだ仕事のやり方について調べる。</p>	<p>(関) 自分が選んだ仕事のやり方を調べ、その仕事に挑戦しようとする。</p> <p>(思) 自分でできる仕事について考えることができる。</p> <p>(気) 家庭において、自分でできる仕事があることに気付く。</p>
	5 (本時) (60)		<p>&lt;交流1&gt;</p> <p>・自分が取り組んでいる仕事についてグループ内で交流し、仕事のやり方や大変さ、友達の工夫などに気付く。</p>	

	6 (60)		<交流2> ・交流1後の自分の仕事への取り組みを通して、家族や自分の役割を考える	(気) 仕事への取り組みを通して、家族や自分の役割に気付く。
	7		・家族へ感謝の手紙を書く。	
ひろげ る	8 ・ 9	できたよはっぴ ょうかいをしよ う	・グループごとに自分たちの取り組んだ仕事について、仕事のやり方や大変さ、工夫などを発表する。家族からの手紙を紹介する。	(気) 自分でできる仕事に進んで取り組むことにより、家族や自分の役割に気付く。

## 6 本時の指導

### (1) ねらい

自分が取り組んでいる仕事を発表し合いながら、友達の仕事に対する頑張りや工夫に気付くことができる。

### (2) 展開

学習活動	時間	教師の指導・支援		評価 【手立ての評価】
		T1	T2	
1 本時の活動について確認する。  めあてを確かめる。	6  2	・ 同じ仕事のグループで発表し合うことを確認する。	・ めあての確認をする。	・ 友達に取り組んでいる仕事の頑張りや工夫に気付くことができる。 【グループでの活動は友達の仕事の工夫に気付くために有効であったか。】
2 発表する内容を確認する。 仕事のやり方 仕事のこつ 頑張っているところ	35	・ 発表する時の話し方について確認する。	・ 友達の仕事に対する頑張りや工夫を見つけるように助言し、聞き方も大切であることを話す。	
3 グループで発表する。 (学び合い) ごはん運び ふとんしき 玄関掃除 お風呂掃除 など		・ それぞれのグループの様子を見ながら、発表にとまどっている子どもを励ましたり、仕事の頑張りや工夫に気付くようなアドバイスをしたりする。 ・ よいところを見つけ賞賛し、自信がもてるようにさせる。		

<p>4 活動の振り返りを する。 (振り返りの工夫) 振り返りカードに 記入する。 発表する。</p>	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間巡視により，頑 張りや工夫に気付 いた児童に感想も 含め発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習について 振り返り，カードに 記入させる。</li> <li>・発表内容を板書し， まとめに生かす。</li> </ul>
<p>5 次時の活動を確か める。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次時の意欲付けを図 る。</li> </ul>	

(3) 具体の評価規準と指導の手立て

領域	A	B	Bに至らせるための手立て
家庭と生活	<p>仕事に取り組む友達の 頑張りを認めたり，自分の やり方と比べたりしなが ら，よりよい工夫に気付く ことができる。</p>	<p>仕事に取り組む友達のやり 方の工夫に気付くことができ る。</p>	<p>グループの様子を見なが ら，友達と自分の仕事のやり 方の違いに気付くように支援 する。</p> <p>友達のやり方を動作化さ せ，自分のやり方との違いを 見つけさせる。</p>

7. 板書計画

